

令和5年度 総合政策学部 一般選抜・後期

テーマ：観光 NPO 法人の役割，課題，必要性

【出題意図】

コロナ禍で観光が大打撃を受けていることはニュース等で取り上げられている。そのなかで、NPO 法人の活動が観光振興の支え手として注目されている。しかし、NPO 法人は後継者や収入源等の問題を抱えている。それでも、NPO 法人は地域に根差した活動をしていることから、地域の活性化やまちづくりに欠かせない存在だと思われる。

本問題は、総合政策学部の入学者の受け入れ方針（アドミッションポリシー）で掲げている AP1 と AP2 をもとに、観光 NPO 法人の役割と課題，必要性を考える問題とした。設問から読解力，文書作成能力，基礎的な数学的思考能力を計るとともに、観光 NPO 法人の役割と課題，必要性を課題文から発見してもらう。

【解答例】

問 1 資料 A の下線(1)の①，②，③の県名を書きなさい。

①鹿児島，②高知，③徳島

問 2 資料 A の下線(2)にある 2010 年の日本人客の旅行消費額の範囲を計算しなさい。なお、2019 年は 2010 年比で 1 割 5 分から 2 割 4 分増とする。小数点以下第 2 位を四捨五入し、小数点第 1 位まで解答すること。

3321.7

3080.6

問 3 資料 A の下線(3)にある仁淀川支流でのカヌー体験の 2018 年度の参加者を計算しなさい。小数点以下第 1 位を四捨五入し、整数で解答すること。

40

問 4 人口減が進む自治体は観光 NPO が多いという傾向にあるとき、散布図として(i)から(iv)の内、もっとも適切なものはどれかを答えなさい。

(ii)

問 5 資料(B)から読み取れることができるものとして、3つ選びなさい。

(イ)，(ウ)，(エ)

問 6 問 6 資料(A)～(C)を踏まえ、地方の観光振興において NPO 法人の果たす役割と NPO 法

人の課題について 450 字以内で述べなさい。

NPO 法人は地域に根差した活動を行っていることから、地域の文化、歴史、環境等の魅力を熟知して、民間企業が採算面で参入しづらい地域で、その知恵を活用し地域の観光に貢献できる。例えば、地域に眠っているものを観光資源に変貌させる。また、非営利活動であることから、行政との連携も容易である。よって民間投資を呼び込みやすく、観光振興を担う自治体の財政余力も限られる過疎の地方では NPO 法人の果たす役割が大きいと考える。

一方、NPO 法人の代表者の高齢化や後継者の不足していること、人材の確保や教育が難航していること、収入源の多様化ができていないことなどの課題がある。収益合計と費用合計を階級別でみると、規模は類似した構成となっているが、最小値と最大値をみると収入も費用も 0 円の法人がいる一方、10 億を超える法人もいる。また、収支差額をみると中央値が 0 円であることから、少なくとも 5 割の法人は利益を得ていないことがわかる。これらのことから継承や運営面の課題に直面している法人が多いと考える。

問 7 資料(D)～(F)を踏まえ、NPO 法人の必要性について 350 字以内で述べなさい。

人口の減少が進む自治体では NPO 法人の活動により、地域の活性化やまちづくりなどの地域への貢献につながる可能性があると考えられる。例えば、地元の伝統的工芸品の魅力を発信したり、若手作家と若手経営者との交流で作家の支援を行ったりすることで深刻化している作り手の高齢化、後継者不足の問題を解消する手段となりうる。また、衣食住を含む暮らしの文化や、芸能などを含む祭りの文化や、自然や歴史等の地元の素材を発信することで地元への理解が進み、新たな担い手によるまちづくり活動へつなげていける可能性もある。民間投資を呼び込みやすく、自治体の担当者が数年で交代することもあり、行政や地域住民と協力して活動していく上で長い目で活動するには NPO 法人の力は欠かせない。